

ICT を活用した「食育」の取組

～食に関する指導における ICT 活用～

北海道星置養護学校 学級数 53 (校長 浅井 謙 作)

□ 実践の概要

特別支援学校では、将来、自立し社会参加するための基盤として望ましい食習慣や健康を管理する力、判断する力などを身に付けるために、児童生徒の発達段階を考慮しながら、学校の教育活動全体を通じて「食に関する指導」を行っていくことが求められている。

そこで、「ICT を活用した『食育』の取組～食に関する指導における ICT 活用～」として、給食ができるまでの動画視聴を通じて、児童の給食への興味・関心を高めるための実践に取り組んだ。

1 実践の目的

タブレット端末で撮影及び編集した「厨房でカレーライスを調理する様子の動画」を児童に提示し、給食ができるまでの過程を視聴することで、児童の給食への興味・関心を高める。

2 実践内容

(1) 実施計画

- ①日 時 ・令和5年5月23日(火)【小学部1～3年】
・令和5年5月24日(水)【小学部4～6年】
※小学部集会(特別活動)で実施
- ②題材名 ・「給食ができるまで」
- ③目 標 ・クイズや給食ができるまでの動画視聴を通じて、「食」への興味・関心を高める。

(2) 取組の具体

児童に馴染みのある給食メニューである「カレーライス」を題材とし、児童の興味・関心を高めるために動画に音楽を挿入するなどの工夫をした。学習活動としては、カレーライスに使われている食材のクイズや、カレーライスができるまでの動画視聴、給食室(厨房)で使っている道具を見たり触ったりする体験に取り組んだ。

(3) 取組後の点検・評価、工夫改善

小学部集会では、「①食べ物クイズ」、「②動画視聴」及び「③給食の道具を見る・触る」の3つの内容を行った。

小学部集会は参加する児童が多いことから、①及び③は参加できる児童が限定されたが、動画の視聴は、全ての児童が参加することができた。

また、③では、大量の食材や厨房の大きな調理機器を使ってカレーライスが出来上がる様子を興味深く観察する児童の様子が見られた。

(4) 改善後の取組

今後は、「食に関する指導」の充実のため、オンラインを活用し、給食時間や教科等における食に関する指導及び個別相談など、栄養教諭の指導機会を増やしていく。



【動画を視聴している様子】



【動画内容】

3 実践のポイント (○成果と●課題)

- 動画の視聴及び動画で実際に使用していた調理器具(大きなへら等)など実物を見たり触ったりする体験を組み合わせることで、児童のより深い理解につながった。
- 動画は、いつでもどこでも視聴が可能のため、栄養教諭が不在でも食育を実施することが可能である。
- 動画を視聴するだけでは情報が一方的になるため、今後は、例えば、給食を作っている様子をオンラインで配信し、双方向のやり取りをするなどして、効果的なICTを活用した食育の実践を進めていきたい。